

平成26年 5月 9日
総合政策部 危機管理課
電話 0742-34-4930

帰宅困難者訓練の実施結果について

平成26年4月12日に実施した帰宅困難者訓練後に、アンケート調査を行い、その結果等から本訓練の成果について報告します。

記

1 訓練の概要

(1) 目的

奈良市職員（市長を含む36名）を対象として、徒歩による帰宅困難者訓練を実施し、災害時における大阪市内から奈良市内への帰宅ルートを検証する。

帰宅ルートの検証

大阪市中心部から国道308号線（暗越街道）沿いの帰宅ルートの確認、安全体制の確立及び部内外機関との連携について検証

市民を交えた訓練の実施準備

平成26年秋以降に実施する奈良市民を交えた帰宅困難者対策訓練のための準備訓練

(2) コース及び参加者

- ・ JR大阪駅（大阪市）～花園中央公園（東大阪市）：危機管理監を含む6名
- ・ JR難波駅（大阪市）～花園中央公園（〃）：保健福祉部長を含む6名
- ・ 花園中央公園（東大阪市）～南コミュニティセンター（生駒市）：市長を含む24名

2 アンケートの結果（長距離歩行に関する感想）

※対象者（36名）の内訳

男性30名：20歳代3名、30歳代9名、40歳代5名、50歳代12名
60歳代1名

女性6名：20歳代3名、30歳代1名、40歳代1名、50歳代1名

別紙「帰宅困難者訓練アンケートの結果」

(1) 身体への負担

脚に痛みを感じた職員が、22名（61%）であり、痛んだ部位は、尻部～太もも～ふくらはぎ～足裏と幅広い。

(2) 大阪駅・難波駅から生駒市南コミュニティセンターまでのコースであった場合の完歩の可能性

ア 「歩けそうだ」と回答した職員は、36名中20名（56%）であり、全員男性であった。その内、日頃運動をしている者が15名である。

イ 「歩けそうにない」と回答した職員は、36名中10名（28%）であった。その内、運動を全くしていない者が8名である。

ウ 年代別では、50歳代は13名中8名（62%）が「歩けそうだ」と回答しており、全て男性であった。その内、7名は日頃から運動をしている。

エ 性別では、「歩けそうにない」が男性30名中6名（20%）、女性6名中4名（67%）であった。

上記のとおり「歩けそうだ」と回答した者は、年代に係わらず日頃から運動をしている。

(3) 準備しておく服装等

運動靴（ウォーキングシューズ等含む）が必要であると15名（42%）が回答しており、革靴は適さないことが明らかになった。

今回の訓練で革靴着用者を6名指定したが、いずれも足にマメ、踵の痛み及び靴下やぶれ等で困難であったという回答である。

(4) 必要な携行品

水（スポーツドリンク含む）が18名（50%）で圧倒的に多く、他にはタオルや軽食（チョコ、飴等）が必要であるという回答である。

(5) 市民を交えた訓練についての提言

- ・夏場は実施すべきでない（10名）
- ・個人（年令、体力）に応じた編成をとるべき（6名）

3 検証成果

(1) 災害時徒歩帰宅することは、自己の体力及び体調を考慮した上で、十分な準備をしなければ大変困難なものになることを検証できた。

(2) 災害時には、まずは安全な場所に留まることを考慮し、徒歩による帰宅を決めた場合は経路上の被害の情報を入手し、2次災害の防止に努めることが必要である。

(3) 災害時に徒歩による帰宅を決める可能性のある人は、危険箇所だけでなく距離感や所要時間を把握し、必要な対策を講じるため、一度は自分で帰宅ルートを歩いてみるということが重要である。

帰宅困難者訓練アンケート(行進参加者用)の結果

合計36人：大阪駅GP6人・難波GP6人・花園中央公園GP24人

性別：男30人・女6人 年齢：20歳代6人・30歳代10人・40歳代6人・50歳代13人・60歳代1人

区分	具体的内容	記入(選択式及び記述式) 記述の要約を挿入しています。	集計	区分毎集計		
				大阪	難波	花園
身体への負担	前日までの健康状態	①良好 ②普通 ③不良	21 15 0			
	日頃の運動の頻度	①ほぼ毎日運動をしている ②ときどき運動をする程度 ③ほとんど運動をしない	7 17 12	4 0 2	0 3 3	3 14 7
	当日の疲労の程度(痛んだ部位、意識の程度、呼吸等)	①痛みを感じなかった ②脚に痛みを感じた ③呼吸が苦しかった	15 21 4	3 3 0	1 5 0	11 13 4
経路の状況	経路は歩きやすかったですか	①はい ②いいえ ③どちらともいえない	12 13 11	5 0 1	0 4 2	7 9 8
	距離はどうでしたか	①短い ②長い ③ちょうどよい	5 7 24	1 1 4	0 1 5	4 5 15
	危険箇所はありましたか？	①はい(※具体的に記述) ・道路が狭い(暗峠) ・歩車分離不十分(東大阪市) ・自転車が多い(大阪市内) ②いいえ	22 14	2 4	4 2	16 8
	間違いやすい場所はありましたか？	①はい(※具体的に記述) ・交差点 ・暗峠入り口及び分岐点 ②いいえ	12 24	0 6	3 3	9 15
	協力店の確認状況は(発見できましたか等)	①はい ②いいえ	32 3	6 0	4 2	23 1
個人準備	日頃からどのような服装の準備が必要だと思いますか？(服装・靴・雨衣等)	※記述式 ①運動靴等の準備 ②雨衣 ③速乾性の服・Tシャツ ④帽子	15 4 3 2			
	携行品は何か必要ですか？	※記述式 ①水(スポーツドリンク含む) ②タオル ③軽食(チョコ、飴等) ④着替え その他：懐中電灯・傘	18 7 6 4 4			
余力度	(大阪駅・難波駅グループ) 花園中央公園到着後暗越街道を通り南コミュニティセンター(9キロ)まで歩けそうですか？	①歩けそうだ ②歩けそうにない ③わからない	6 5 1	1 36名の集計 ①歩けそうだ 20名(56%) ②歩けそうにない 10名(28%) ③わからない 6名(16%)		
	(花園中央公園GPのみ) 大阪駅(16キロ)・難波駅(13キロ)を歩いた後南コミュニティセンターまで歩けそうですか？	①歩けそうだ ②歩けそうにない ③わからない	14 5 5	2 年代別 ・20歳代6名：①1名②3名③2名 ・30歳代10名：①6名②3名③1名 ・40歳代6名：①4名②2名③0名 ・50歳代13名：①8名②2名③3名 ・60歳代1名：①1名 3 女性6名 ①歩けそうだ 0名 ②歩けそうにない 4名 ③わからない 2名		
提言	市民を募集して帰宅困難者訓練を予定していますが、提言はありますか？	※記述式 ①実施時期 ・夏場は実施すべきでない ・気温20°前後(秋～初冬)が適 ②編成 ・個人(年齢、体力)に応じた編成 ・少数グループ(トイレ、交通事情) ・自由歩行できる編成 ・案内人が必要 ③コース ・今回のようにコース区分(短、長) ④管理要領 ・医者及び看護師等の配置 ・着替え場所の設置 ・残距離の表示 ⑤参加者募集の在り方 ・参加者を選考すべき	10 2 6 4 2 1 2 1 1 1 1			

帰宅困難者訓練アンケート(本部勤務者用)の結果

勤務位置： 大阪駅GP ・ 難波GP ・ 花園中央公園GP 合計15名

区分	具体的内容	記入	集計
役割の認識	全体の流れを理解できましたか？	理解できた 理解できなかった どちらともいえない	15
	自己班ならびに自己の役割を十分理解できましたか？	理解できた 理解できなかった どちらともいえない	15
	何か分からない点がありましたか？	(記述)なし	
経路状況	事前に経路は理解していましたか？	はい いいえ	15
	危険箇所又は間違いやすい場所がありましたか？	はい ・暗峠の道路狭い	1
		いいえ	14
行進者の状況	行進員の様子で気づいたことはありますか？	はい ・年令に関係なく日頃の運動で左右される。 ・大阪GPの第6休憩点で疲れた人がいた。 ・給水が必要	3
		いいえ	12
	本部の他の班の行動で気づいたことはありますか？	はい いいえ	15
編成	今回の人員数について	適切 不足	15
	今回の装備について	適切 不足	15
提言	市民を募集して帰宅困難者訓練を予定していますが、何か提言はありますか？	実施時期 夏場は困難 編成 ・10人のグループが良い。 ・安全A(暗峠出入口の交通安全)は、行進GPにスタッフがいれば必要ないのでは？ 訓練要領 ・休憩が多く長い。 ・「ロケ探」は有効で、操作も簡単 管理 ・公共施設の利用(東大阪市行政センター等) ・「訓練実施中」の立て看板の設置 ・給水処置が必要 通信 ・生駒山は無線が通じず、本部からの定時連絡が欲しかった。	7 1 2 1 2 1 1 1 1